

一 處 後 頁 の 行 動

七月十七日中外印刷第二工場従業員約三十名及東京製本印刷  
会社従業員十二名末核シ激勵的投擲ヲ爲シタル後田中正義  
外六名ハ代表トシテ工場事務所ヲ訪問シ社員木下恭ニ今見シ  
紳士的態度ニ以テ速カニ本爭議ヲ解決セシメ度キ旨ヲ述ヘ別  
紙決議文ヲ提出シテ退去セリ

八 及 中 ( 組 ) 罷 假 也

決 議

此等團體に於て資本主義經濟は其の性質上必然の趨勢として今日の如き不況を背し甘んじざる  
例を以て知るも極めて極大にして生きたるのみならず生計若かりし不況は更に社会不安を増大し、  
今日も抑り亦自己の私慾に盲目ならずが故に往りに私慾を捨てて社会のため天危機に望  
みきつる者を生かざるのみならず、其の機會を善用し今日の不況は皆労働者の責任ある  
かゝる事には此の責を担担し、此等不況を改善し、採取を遂行し社会不安を激減し、ついで現今  
の社会收斂の下に於て是等收斂の同志、新深社会主義に於ても社会の中心を占めりし